

特44

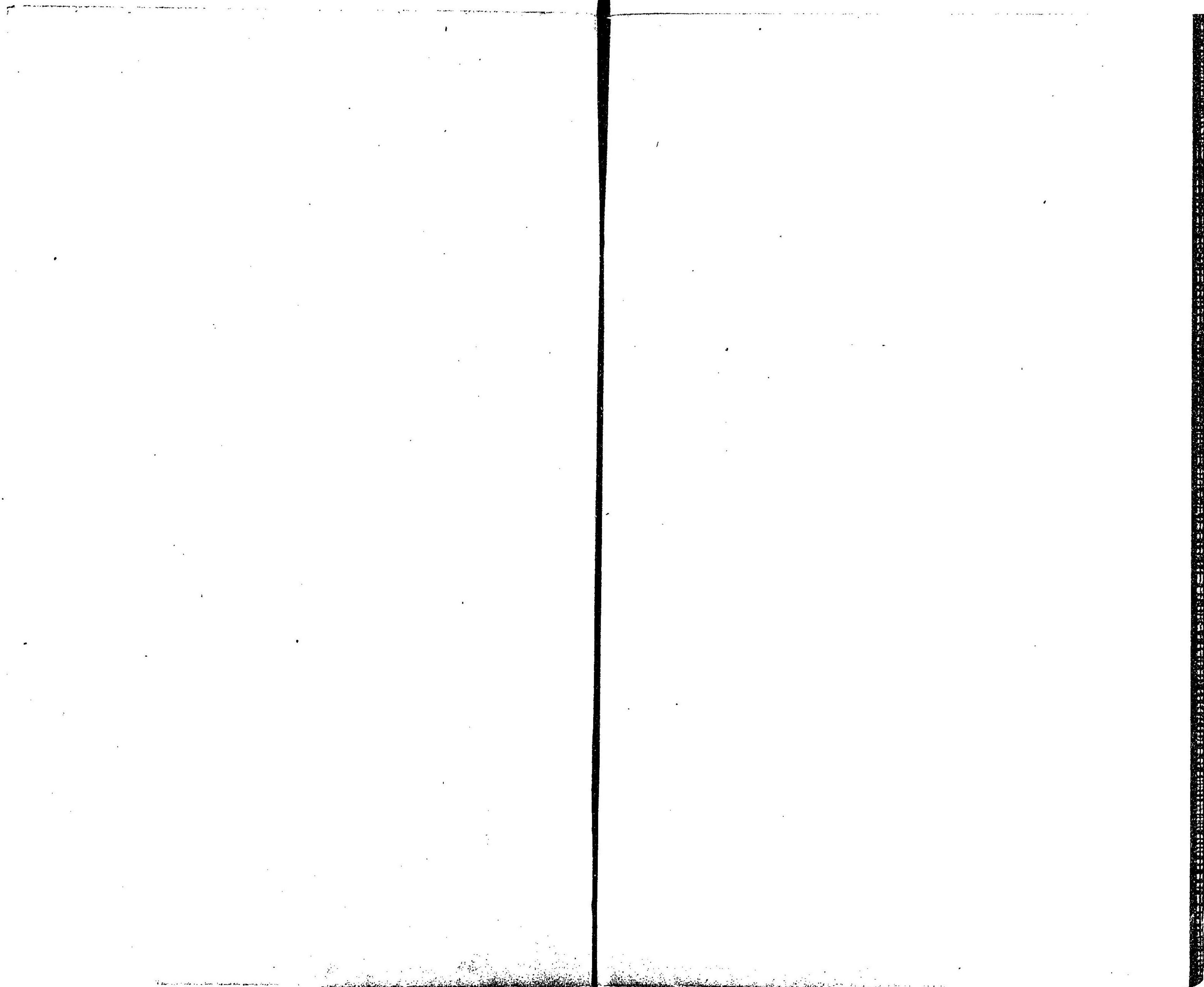
86



265

109





法中集  
音息緒

博

明治  
43. 6. 27  
肉交



己酉初夏

柳江題



碁合戦

玉蘭作

扱も碁盤の上の合戦に

意をつけて見給ふべし

黑白理非もちからづつ

たのが領地を守りつ

他人の領分うばはんと

たがひに荒碁の掴み合

暫く勝負も見いりけり

茲に味方は先手とて



斥候兵を四すみに出

勇む桂馬のいなまきに

左右の翼を張りひろげ

只管進軍たぐりか

敵の軍略伏勢に

しやうの捺に陥りて

唯一と揉みに撃たれけり

こは残念と押しかす

短兵急の攻合も

僅一手の後手先手にて

なへの功さへ立兼ねぬる

かさねがかさねの敗軍に

いまや苦戦の真最中

下手の考やすむに似ず

キツト思案の一ふくに

ひねり出したる作戦法

此所定石のきこめぞと

かねて覺ゆる暮教の手

ポイント打ち出す一目に

旗色忽ち立てなほれり

暮合戦



此時敵は急所を撃たねむ

待つたと高く叫びぬ

いかに猶豫のあるべきぞ

なりぬくと手を拂ひ

味方は附入り打込めば

敵はシドロ口に眼も眩み

メウタヤタラに打合へり

是より戦酣に見分ければ

敵も味方も入りみだれ

錫をげづる矢つぎばや

切つ切られつ修羅場裡

烏鷲く眼に益もなき

駄目迄ヒシと詰居たり

斯方所に罔眼の四郎八目は

盤面間近にのぞき込み

烟管を笏にオツ取りつ

名人顔をよそほひて

さゆ鷹揚に左右を睨み

彼の大石こそ一大事

油断なせそと天音聲



敵も味方も顔見合せ

今がいままで我ものこと

思ひ極め折柄なれば

ハツトメことりて大騒ぎ

にはかたに双方軍配を

あせりく〜て漸々に

どの諺りを見れば

中原の鹿いづれにも

捕られぬ迄がせきの山

果ては笑となりにつり

果ては笑となりにつり



明治四十三年六月十日印刷  
全 四十三年六月二十五日發行

發行兼  
編輯人

大阪市東區和泉町二丁目一番地  
有 村 彌 四 郎

印刷人

大阪市東區和泉町二丁目一番地  
藤 井 護 三 郎  
電話東四五五九番

發行兼  
印刷所

大阪市東區和泉町二丁目一番地  
藤 井 改 進 堂  
長電話東二七〇番



265  
109



